



## 「壁がない」ということ

「壁がない」

壁とはそれぞれ2つないし複数の事柄を隔てるモノだ。

今回提案する「ASHIMORI CAFE WITH PHOTO GALLERY」では3つの「壁がない」がある。1つは店内空間にはなるだけ壁を設置しなかった。もう1つは足守の風景を通じて、地域住民や観光客の隔たり(壁)を超えた「つながり」が生まれる場となって欲しい思いからだ。そして、足守という町の魅力が町という枠(壁)を外れ、どこまでも広がっていくようになって欲しかったからだ。

# ASHIMORI 壁のない中心 CAFE WITH PHOTO GALLERY

## TARGETS

### FOR LOCALS

地元住民にとっては交流の場、そして憩いの場となるよう考えた。木に囲まれた安らぎの店内空間と、足守の写真が自分たちの暮らす土地の思い出と再発見の機会を生み出す。そしてテラス席には小規模な運池を作ることで全体の雰囲気足守という町を映し出す。

### FOR TOURISTS

以前店舗とバックヤードであった場所を駐輪場と整備スペースとし、自転車での利用者に対するの利便性を生み出すことで誘引することができる。店内は足守の写真に包まれ、足守の魅力を感じる場が広がる。

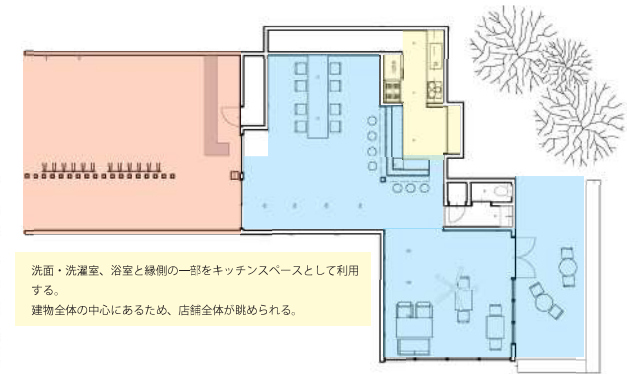
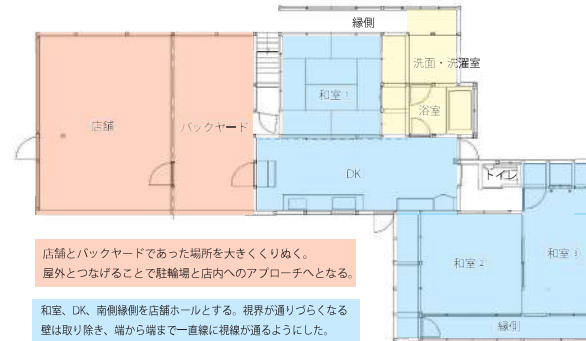
## 01 CAFE SPACE 店内空間

店舗内は主に3つのスペースに分けられる。店舗入り口側から一人で来られる方や大人数を想定した長机のスペース、一般的な人数である2-4人を想定したテーブルスペース、そして小人数限定にはなるが、最も開放的で景色の良いテラススペースだ。またキッチンカウンターからはテラススペースを除く店内全体を見渡せるようにしている。そしてそれぞれのスペースを分ける壁を廃することで明確な分別を作ることなく、一体的な空間を作り出している。特にテラススペースは生垣で囲み、左右を小規模な運池で挟み込むことで開放的でありながらも、隠れ家的な空間を演出している。テラス北側には生垣を設けず庭園へと視界を開けている。テラスと隣接するテーブルスペースはテラススペースへと見通しがよくなるようにしている。



## 02 PHOTO SPACE 写真スペース

写真を貼り出すスペースは店内の至る所、すなわち自由だ。貼り出しを禁止する場所以外は基本的には制限を設けない。洗練された貼り出し方ではなく、貼り出す人々、それぞれの持つ個性によって積み重なっていく。来店してくれた人々によって作られていく景色が、時間を経るごとにその魅力と楽しさを帯びていくと考えている。また、写真を見に来た人々だけでなく、ふらっと立ち寄った人たちの視界になんとか映る写真たちはきっとその人たちの目に綺麗に映るだろう。



## 03 PARKING SPACE 駐輪スペース

足守は岡山県が企画する「ハレいろ・サイクリング OKAYAMA」のサイクリングルートの一つである「岡山鏡野橋断ルート」に含まれており、日中は多くのサイクリストがこの足守を通過していく。メインストリートから1つ入り込み、車通りの少ないこの通りはサイクリストが休む場所としては最適だろう。駐輪スペースと整備スペースを設け、整備道具の貸出サービスを行うことでサイクリストたちが気軽に脚休めのできる場所となる。そしてサイクリングルートに含まれており、サイクリストたちへ休む場所の提供やサービスが行なえる飲食店などが加入できる「ハレいろサイクルカフェ」にも加入する条件を満たしているため、これに加入することで登録店一覧に記載してもらえるので、宣伝効果も得られる。また、店内へのアプローチと自転車のスペースをスリット壁により隔てることで、アプローチを通る徒歩などの人々とでそれぞれが視線を感じづらくしている。

